

市内経営動向調査

平成30年4月～6月期（第1四半期）

- ① 調査の時期 平成30年7月 ② 調査の期間 平成30年4月～6月
③ 調査対象企業 280社 ④ 回収状況 151社（回答率53.9%）
⑤ 調査内容 建設業、製造業、卸・小売業、サービス業を営む企業に対して、佐世保の景況感、
業界の景況感、前年同期比売上動向（H29.4月～6月）、前年同期比採算動向
（H29.4月～6月）を調査

※DI=ディフュージョン・インデックスとは《「増加・好転の割合」－「減少・悪化の割合」》

【総括】

○全業種

全業種では、全ての調査項目においてDI値の悪化がみられた。
前回調査では、佐世保の景況感において直近10年間の調査で最も高い数値を維持するなど、駆け込み需要が生じた消費増税(8%)前の水準に迫る勢いで回復基調が続いていたが、今回全ての調査項目で悪化した。要因として、これまで全業種の中で全体の回復を牽引してきた建設業、サービス業が一部を除く各調査項目において大きく悪化に転じたことに加え、受注の減少や原材料費・燃料費の上昇による負担増、天候不順といった理由が挙げられる。経営上の問題点としては、依然として人手不足を問題とする声が多く寄せられていることから、企業の人材確保を課題とする姿勢も窺える。各社で人材育成や業務効率化による生産性の向上が求められる。全国的には、上記と同様の問題に加える一方、記録的な猛暑に伴う夏物商材の需要拡大や夏の観光需要拡大を期待する声もあるが、中小企業の景況感は足元で弱い動きが続いており、先行きに慎重な見方が残る。

○佐世保市内の景況感

DI値は、建設業において改善したものの、製造業、卸・小売業、サービス業において悪化した。
これまで回復基調にあった製造業であるが、『良い』と回答した企業が13.8%減少し、▲25.7（前回比-11.9ポイント）と2期連続で悪化した。またサービス業においては▲43.8（前回比-26.7ポイント）、卸・小売業においては▲36.9（前回比-8.4ポイント）と悪化に転じた。

○市内業界の景況感

DI値は、建設業において改善したものの、製造業、卸・小売業、サービス業において悪化した。
建設業では、『良い』と回答した企業が4.4%増加し、▲11.2（前回比+4.3ポイント）と僅かに改善。全業種の中でも高い数値を維持しているが、前年同期比の売上動向では大きく悪化に転じているため、今後それぞれの数値動向に注視が必要である。低い数値が続くが6期連続で改善の動きが見られていた卸・小売業では、▲38.4（前回比-5.1ポイント）と僅かであるが悪化に転じた。

○前年同期比の売上動向

DI値は、全ての業種において悪化した。
前回まで着実に改善の動きが見られ、直近20年間の調査で最も高い数値を記録した建設業では、『増加』『やや増加』と回答した企業が25.9%減少し、▲22.2（前回比-37.4ポイント）と大きく悪化に転じた。同じく他の業種においても大きく悪化しており、DI値の早期回復に期待したい。

○前年同期比の採算動向

DI値は、製造業、卸・小売業において改善したものの、建設業、サービス業において悪化した。
依然として、深刻な人手不足の影響による労務費の上昇や燃料費・原材料費の高騰を指摘する声が寄せられた。全国的にもこれらに加え消費者の低価格志向やコスト増加分の価格転嫁の遅れを懸念する声が続いている。

①佐世保の景況感について				②市内業界の景況感				③昨年同期比の売上の動向は？				④昨年同期比の採算動向は？			
全業種 DI値 ▲ 30.6				全業種 DI値 ▲ 29.8				全業種 DI値 ▲ 22.0				全業種 ▲ 16.8			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	4	2.67%	2.7	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	6	4.00%	4.0	2.良い	8	5.30%	5.3	2.やや増加	17	11.33%	11.3	2.やや好転	21	14.09%	14.1
3.普通	92	61.33%	61.4	3.普通	90	59.60%	59.6	3.変わらない	75	50.00%	50.0	3.変わらない	82	55.03%	55.0
4.悪い	47	31.33%	31.3	4.悪い	45	29.80%	29.8	4.やや減少	38	25.33%	25.3	4.やや悪化	34	22.82%	22.8
5.大変悪い	5	3.33%	3.3	5.大変悪い	8	5.30%	5.3	5.減少	16	10.67%	10.7	5.悪化	12	8.05%	8.1
建設業 DI値 ▲ 19.9				建設業 DI値 ▲ 11.2				建設業 DI値 ▲ 22.2				建設業 DI値 ▲ 17.8			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	4	8.89%	8.9	2.良い	5	11.11%	11.1	2.やや増加	3	6.67%	6.7	2.やや好転	2	4.44%	4.4
3.普通	28	62.22%	62.3	3.普通	30	66.67%	66.6	3.変わらない	29	64.44%	64.4	3.変わらない	33	73.33%	73.4
4.悪い	11	24.44%	24.4	4.悪い	7	15.56%	15.6	4.やや減少	8	17.78%	17.8	4.やや悪化	5	11.11%	11.1
5.大変悪い	2	4.44%	4.4	5.大変悪い	3	6.67%	6.7	5.減少	5	11.11%	11.1	5.悪化	5	11.11%	11.1
製造業 DI値 ▲ 25.7				製造業 DI値 ▲ 28.5				製造業 DI値 ▲ 8.7				製造業 DI値 0.0			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	4	11.76%	11.8	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	0	0.00%	0.0	2.良い	1	2.86%	2.9	2.やや増加	4	11.76%	11.8	2.やや好転	7	21.21%	21.2
3.普通	26	74.29%	74.3	3.普通	23	65.71%	65.7	3.変わらない	15	44.12%	44.1	3.変わらない	19	57.58%	57.6
4.悪い	9	25.71%	25.7	4.悪い	11	31.43%	31.4	4.やや減少	8	23.53%	23.5	4.やや悪化	6	18.18%	18.2
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	3	8.82%	8.8	5.悪化	1	3.03%	3.0
卸・小売業 DI値 ▲ 36.9				卸・小売業 DI値 ▲ 38.4				卸・小売業 DI値 ▲ 30.8				卸・小売業 DI値 ▲ 17.9			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	1	2.63%	2.6	2.良い	1	2.56%	2.6	2.やや増加	6	15.38%	15.4	2.やや好転	7	17.95%	18.0
3.普通	22	57.89%	57.9	3.普通	22	56.41%	56.4	3.変わらない	15	38.46%	38.4	3.変わらない	18	46.15%	46.1
4.悪い	13	34.21%	34.2	4.悪い	14	35.90%	35.9	4.やや減少	14	35.90%	35.9	4.やや悪化	12	30.77%	30.8
5.大変悪い	2	5.26%	5.3	5.大変悪い	2	5.13%	5.1	5.減少	4	10.26%	10.3	5.悪化	2	5.13%	5.1
サービス業 DI値 ▲ 43.8				サービス業 DI値 ▲ 46.9				サービス業 DI値 ▲ 25.0				サービス業 DI値 ▲ 31.3			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	1	3.13%	3.1	2.良い	1	3.13%	3.1	2.やや増加	4	12.50%	12.5	2.やや好転	5	15.63%	15.6
3.普通	16	50.00%	50.0	3.普通	15	46.88%	46.9	3.変わらない	16	50.00%	50.0	3.変わらない	12	37.50%	37.5
4.悪い	14	43.75%	43.8	4.悪い	13	40.63%	40.6	4.やや減少	8	25.00%	25.0	4.やや悪化	11	34.38%	34.4
5.大変悪い	1	3.13%	3.1	5.大変悪い	3	9.38%	9.4	5.減少	4	12.50%	12.5	5.悪化	4	12.50%	12.5

市内経営動向調査 平成30年度第1四半期（平成30年4月～6月）DI景況感 ※DI値は平成29年第4四半期（平成30年1月～3月）と比較

	佐世保の景況感	業界の景況感	前年同期比売上げ動向	前年同期比採算動向
全業種	DI ▲20.5 ⇒ ▲30.6 ↘ 	DI ▲25.8 ⇒ ▲29.8 ↘ 	DI 1.4 ⇒ ▲22.0 ↗ 	DI ▲8.5 ⇒ ▲16.8 ↗
建設業	DI ▲20.0 ⇒ ▲19.9 ↘ 	DI ▲15.5 ⇒ ▲11.2 ↘ 	DI 15.2 ⇒ ▲22.2 ↗ 	DI ▲2.1 ⇒ ▲17.8 ↗
製造業	DI ▲13.8 ⇒ ▲25.7 ↗ 	DI ▲27.6 ⇒ ▲28.5 ↗ 	DI 0.0 ⇒ ▲8.7 ↗ 	DI ▲6.9 ⇒ 0.0 ↘
卸・小売業	DI ▲28.5 ⇒ ▲36.9 ↗ 	DI ▲33.3 ⇒ ▲38.4 ↗ 	DI ▲17.1 ⇒ ▲30.8 ↗ 	DI ▲23.9 ⇒ ▲17.9 ↘
サービス業	DI ▲17.1 ⇒ ▲43.8 ↗ 	DI ▲28.5 ⇒ ▲46.9 ↗ 	DI 5.7 ⇒ ▲25.0 ↗ 	DI 0.0 ⇒ ▲31.3 ↗



DI100～81



DI80～41



DI40～11



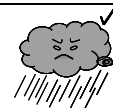
DI10～▲10



DI▲11～▲40

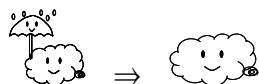


DI▲41～▲80



DI▲81～▲100

DI ▲30.0⇒▲10.0 ↘ (平成21年度第1四半期～平成30年度第1四半期の傾向)



↑ (平成29年度第4四半期と平成30年度第1四半期との比較)

【概 況】

(全業種) ※ () 内は前回調査値

① 市内の景況感について

「大変良い」0% (0%)、「良い」4.0% (6.6%)、「普通」61.4% (66.3%)、「悪い」31.3% (25.8%)、「大変悪い」3.3% (1.3%) となり、DIは▲30.6 (▲20.5) と10.1ポイント悪化した。業種別DIでは、建設業でプラスに作用し、製造業、卸・小売業、サービス業ではマイナスに作用した。

② 市内における業界の景気動向について

「大変良い」0% (0%)、「良い」5.3% (5.3%)、「普通」59.6% (63.6%)、「悪い」29.8% (29.8%)、「大変悪い」5.3% (1.3%) となり、DIは▲29.8 (▲25.8) と4.0ポイント悪化した。業種別DIでは、建設業でプラスに作用し、製造業、卸・小売業、サービス業ではマイナスに作用した。

③ 前年同期 (平成29年4月～6月) 比の売上動向について

「増加」2.7% (6.0%)、「やや増加」11.3% (23.8%)、「変わらない」50.0% (41.8%)、「やや減少」25.3% (18.5%)、「減少」10.7% (9.9%) となり、DIは▲22.0 (1.4) と23.4ポイント悪化した。業種別DIでは、全ての業種でマイナスに作用した。

④ 前年同期 (平成29年4月～6月) 比の採算動向について

「好転」0% (2.0%)、「やや好転」14.1% (21.7%)、「変わらない」55.0% (44.1%)、「やや悪化」22.8% (27.0%)、「悪化」8.1% (5.2%) となり、DIは▲16.8 (▲8.5) と8.3ポイント悪化した。業種別DIでは、製造業、卸・小売業でプラスに作用し、建設業、サービス業ではマイナスに作用した。

《業種別概況》 ※（ ）内は前回調査値

(建設業) 回答：78社中45社、回答率57.7%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」8.9% (2.2%)、「普通」62.3% (75.6%)、「悪い」24.4% (20.0%)、「大変悪い」4.4% (2.2%) となり、DIは▲19.9 (▲20.0) と

0.1ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」11.1% (6.7%)、「普通」66.6% (71.1%)、「悪い」15.6% (20.0%)、「大変悪い」6.7% (2.2%) となり、DIは▲11.2 (▲15.5) と

4.3ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (6.5%)、「やや増加」6.7% (26.1%)、「変わらない」64.4% (50.0%)、「やや減少」17.8% (8.7%)、「減少」11.1% (8.7%) となり、DIは▲22.2 (15.2) と

37.4ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (2.2%)、「やや好転」4.4% (17.4%)、「変わらない」73.4% (58.7%)、「やや悪化」11.1% (17.4%)、「悪化」11.1% (4.3%) となり、DIは▲17.8 (▲2.1) と

15.7ポイント悪化した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上動向

好転要因では、受注件数が増加したためなどの回答があった。

悪化要因では、公共工事の減少や民間の設備投資減少などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、売上増加や外注費の減少などの回答があった。

悪化要因では、受注の減少や公共工事の小型化、材料費値上げの影響などの回答があった。

○経営上の問題

人材不足や人材確保、後継者対策、人材育成を問題及び課題とする声が寄せられた。

(製造業) 回答：64社中35社、回答率54.7%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」0% (13.8%)、「普通」74.3% (58.6%)、「悪い」25.7% (27.6%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲25.7 (▲13.8) と11.9ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」2.9% (6.9%)、「普通」65.7% (58.6%)、「悪い」31.4% (34.5%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲28.5 (▲27.6) と0.9ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」11.8% (10.3%)、「やや増加」11.8% (24.2%)、「変わらない」44.1% (31.0%)、「やや減少」23.5% (17.3%)、「減少」8.8% (17.2%) となり、DIは▲8.7 (0) と8.7ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (6.9%)、「やや好転」21.2% (24.1%)、「変わらない」57.6% (31.1%)、「やや悪化」18.2% (27.6%)、「悪化」3.0% (10.3%) となり、DIは0 (▲6.9) と6.9ポイント改善した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上動向

好転要因では、需要の増加や新商品の投入効果、新規取引先の増加、営業努力などの回答があった。
悪化要因では、受注の減少や顧客の減少などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、生産性の向上や経費の見直し、為替の安定、機械の導入などの回答があった。
悪化要因では、原材料の高騰や人件費の上昇などの回答があった。

○経営上の問題

原材料や人権費の高騰、人材不足、後継者対策、資金繰りを問題及び課題とする声が寄せられた。

(卸・小売業) 回答：73社中39社、回答率53.4%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」2.6% (4.8%)、「普通」57.9% (61.9%)、「悪い」34.2% (30.9%)、「大変悪い」5.3% (2.4%) となり、DIは▲36.9 (▲28.5) と8.4ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」2.6% (4.8%)、「普通」56.4% (57.1%)、「悪い」35.9% (35.7%)、「大変悪い」5.1% (2.4%) となり、DIは▲38.4 (▲33.3) と5.1ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (4.9%)、「やや増加」15.4% (17.1%)、「変わらない」38.4% (38.9%)、「やや減少」35.9% (29.3%)、「減少」10.3% (9.8%) となり、DIは▲30.8 (▲17.1) と13.7ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (0%)、「やや好転」18.0% (19.0%)、「変わらない」46.1% (38.1%)、「やや悪化」30.8% (38.1%)、「悪化」5.1% (4.8%) となり、DIは▲17.9 (▲23.9) と6.0ポイント改善した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上

悪化要因では、販売先の減少や他社との競争、天候の影響、設備投資の減少などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、イベント開催効果や経費の削減、営業力の強化などの回答があった。
悪化要因では、売上減少や原材料費の高騰、工場の稼働減少などの回答があった。

○経営上の問題

人材不足や人材育成、販売先減少、後継者対策、販売体制の強化を問題及び課題とする声が寄せられた。

(サービス業) 回答：65社中32社、回答率49.2%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」3.1% (8.6%)、「普通」50.0% (65.7%)、「悪い」43.8% (25.7%)、「大変悪い」3.1% (0%) となり、DIは▲43.8 (▲17.1) と26.7ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」3.1% (2.9%)、「普通」46.9% (65.7%)、「悪い」40.6% (31.4%)、「大変悪い」9.4% (0%) となり、DIは▲46.9 (▲28.5) と18.4ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (2.8%)、「やや増加」12.5% (28.6%)、「変わらない」50.0% (42.9%)、「やや減少」25.0% (20.0%)、「減少」12.5% (5.7%) となり、DIは▲25.0 (5.7) と30.7ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (0%)、「やや好転」15.6% (28.6%)、「変わらない」37.5% (42.8%)、「やや悪化」34.4% (25.7%)、「悪化」12.5% (2.9%) となり、DIは▲31.3 (0) と31.3ポイント悪化した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上

好転要因では、請負単価の上昇や利用客の増加などの回答があった。

悪化要因では、取引先の減少や事業縮小、利用客の減少などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、請負単価の上昇や利用客の増加などの回答があった。

悪化要因では、人件費や燃料費の高騰などの回答があった。

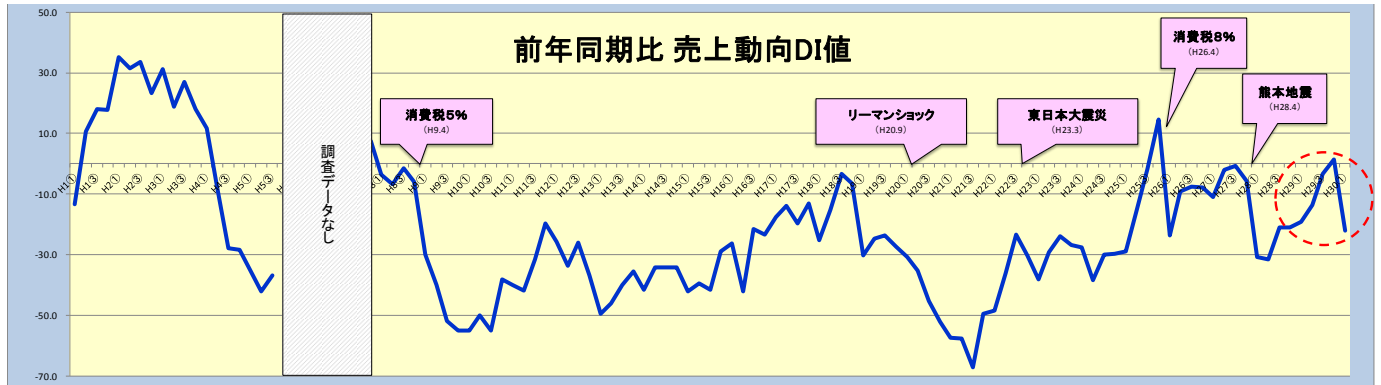
○経営上の問題

人材不足や施設の老朽化、人件費高騰、人員の高齢化などを問題及び課題とする声が寄せられた。

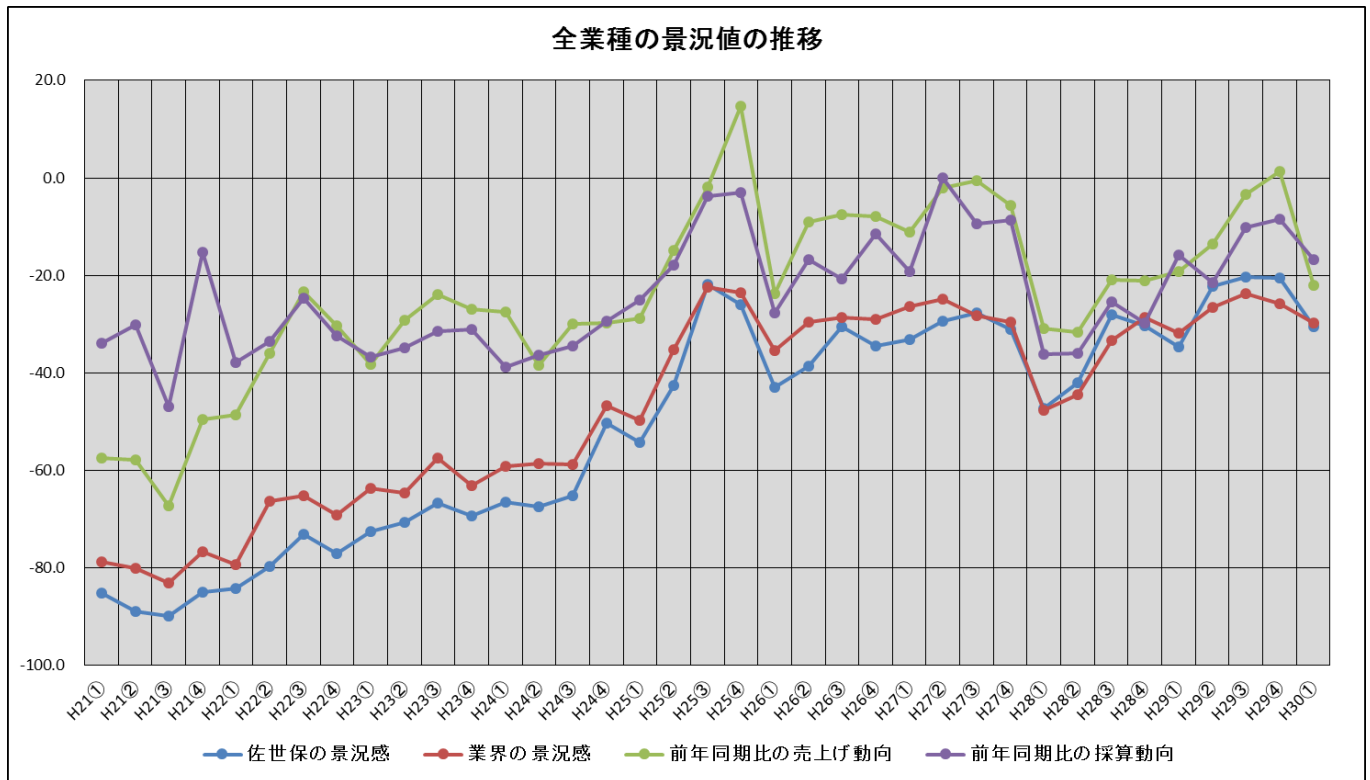
以上

平成 30 年度第 1 四半期 経営動向調査表

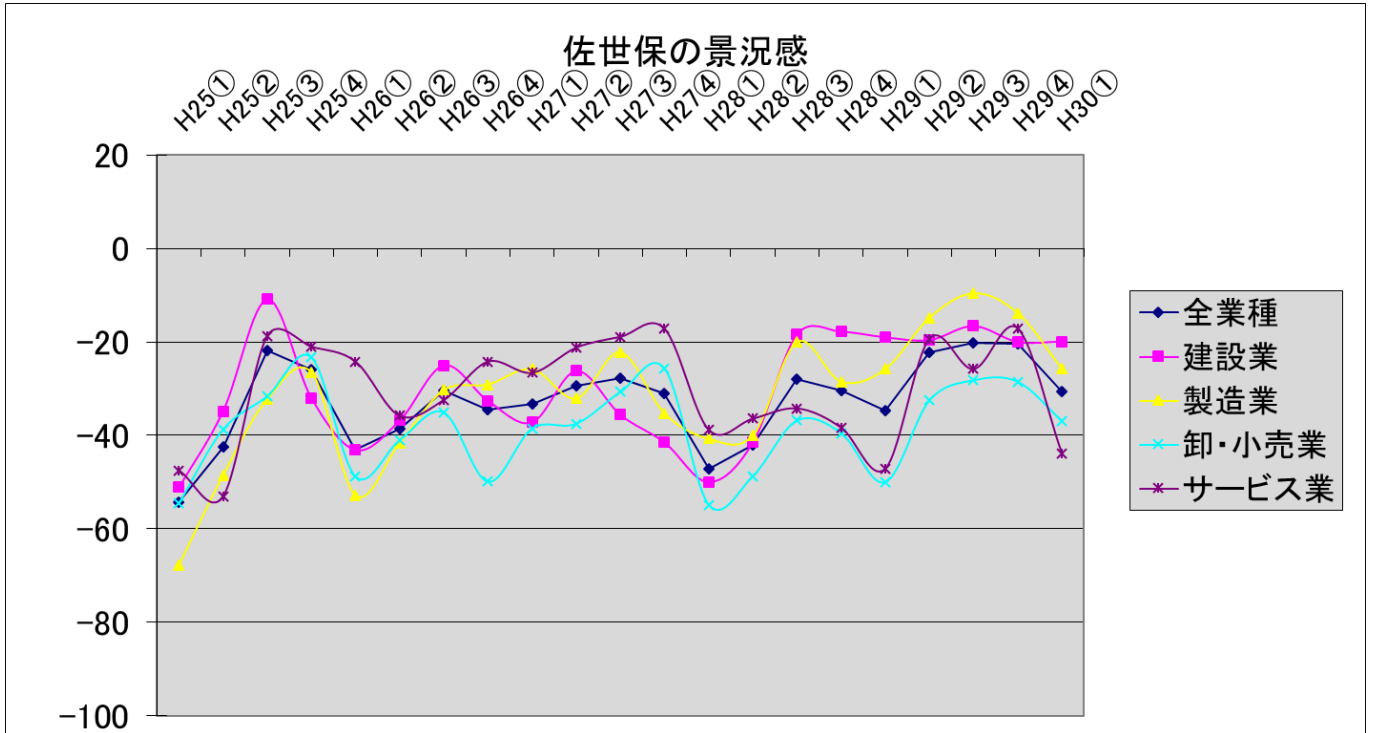
図表 1 - 1 【前年同期比売上動向D I 値の推移（平成元年～）】



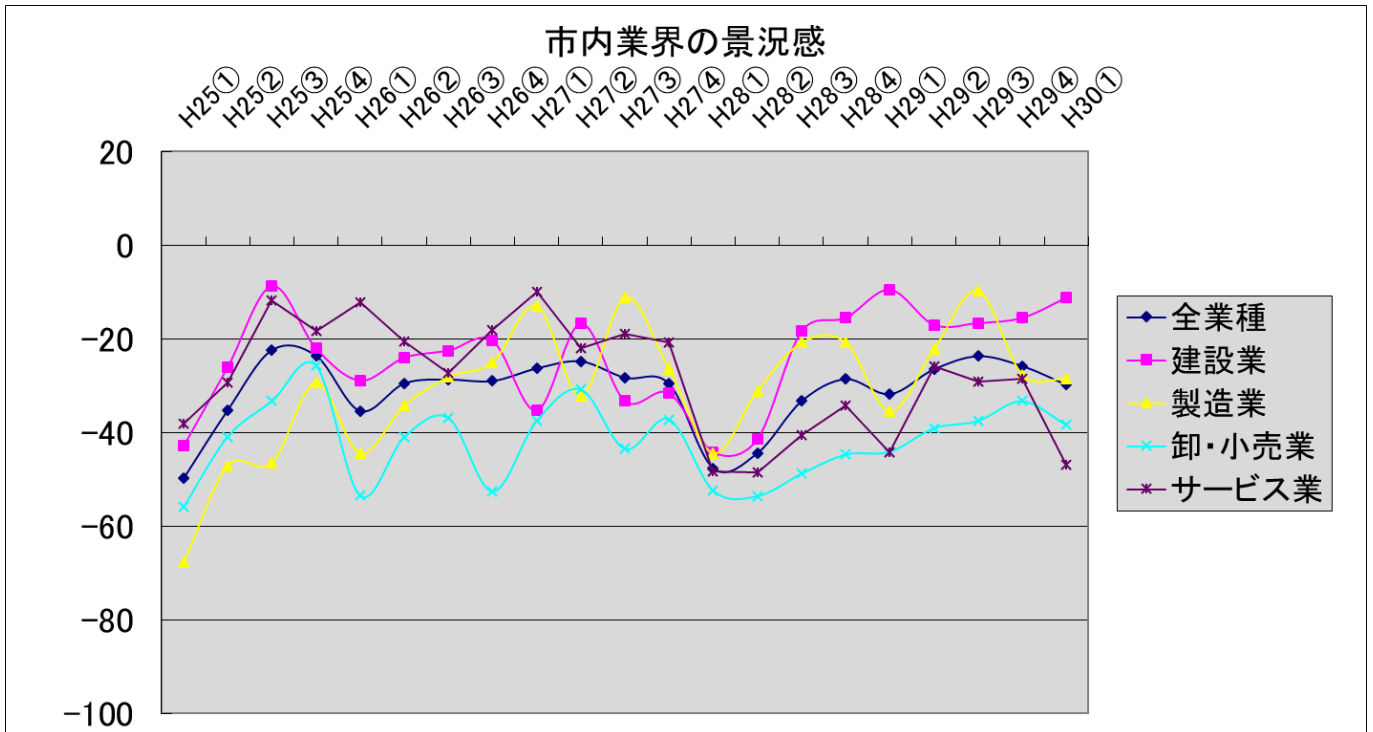
図表 1 - 2 【全業種D I 値の推移（平成 21 年～）】



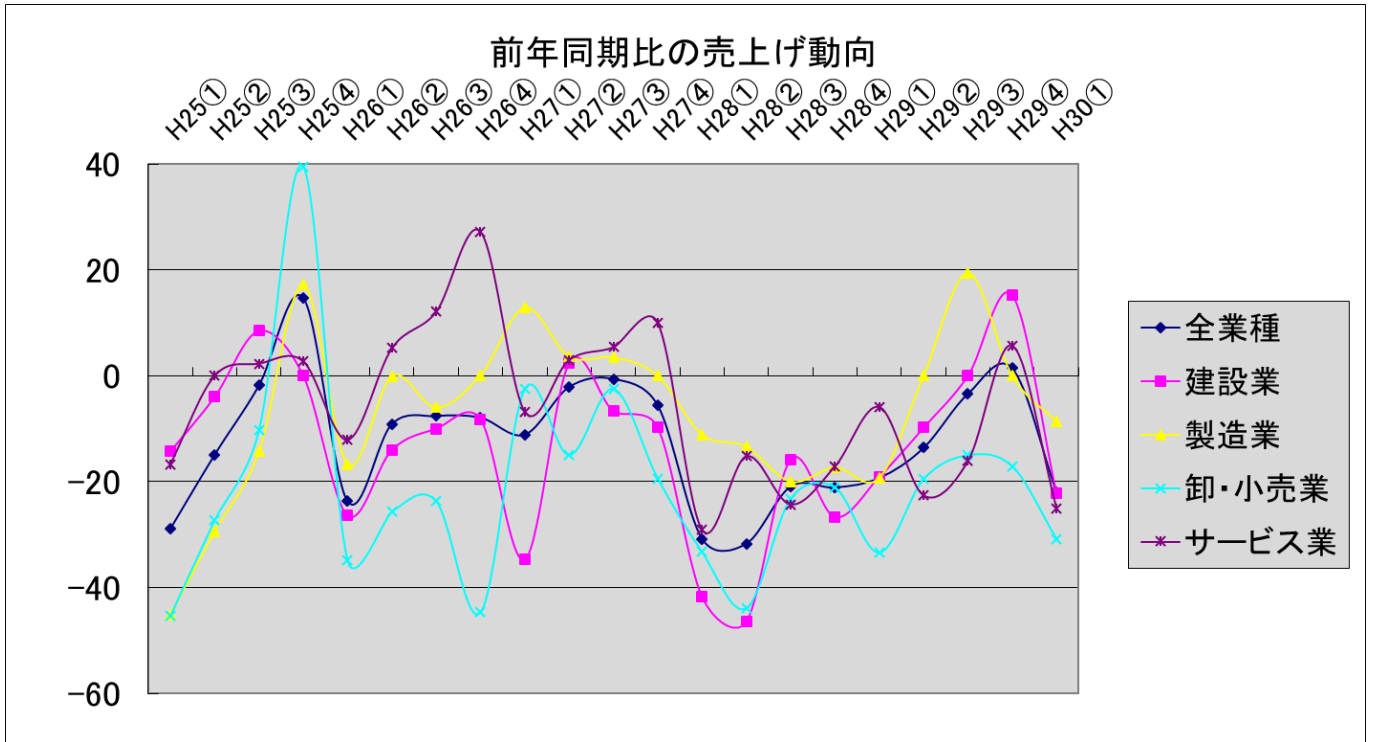
図表 1 - 3 【佐世保の景況感の推移（平成 25 年～）】



図表 1 - 4 【市内業界の景況感の推移（平成 25 年～）】



図表 1 - 5 【昨年同期比の売上動向の推移（平成 25 年～）】



図表 1 - 6 【昨年同期比の採算動向の推移（平成 25 年～）】

